

令和7年度 学校教育評価 結果と考察

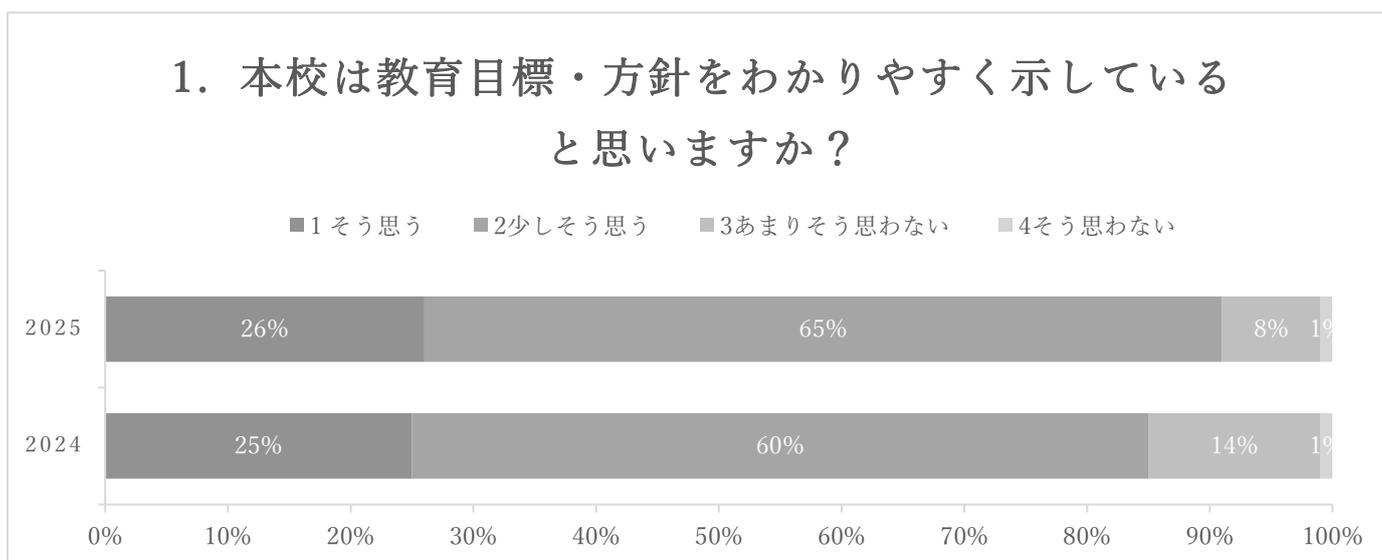
座間市立相武台東小学校

校長 柏木 直樹

本年度11月に保護者と児童を対象に、相武台東小学校の学校教育に関するアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。その結果と考察をご報告いたします。

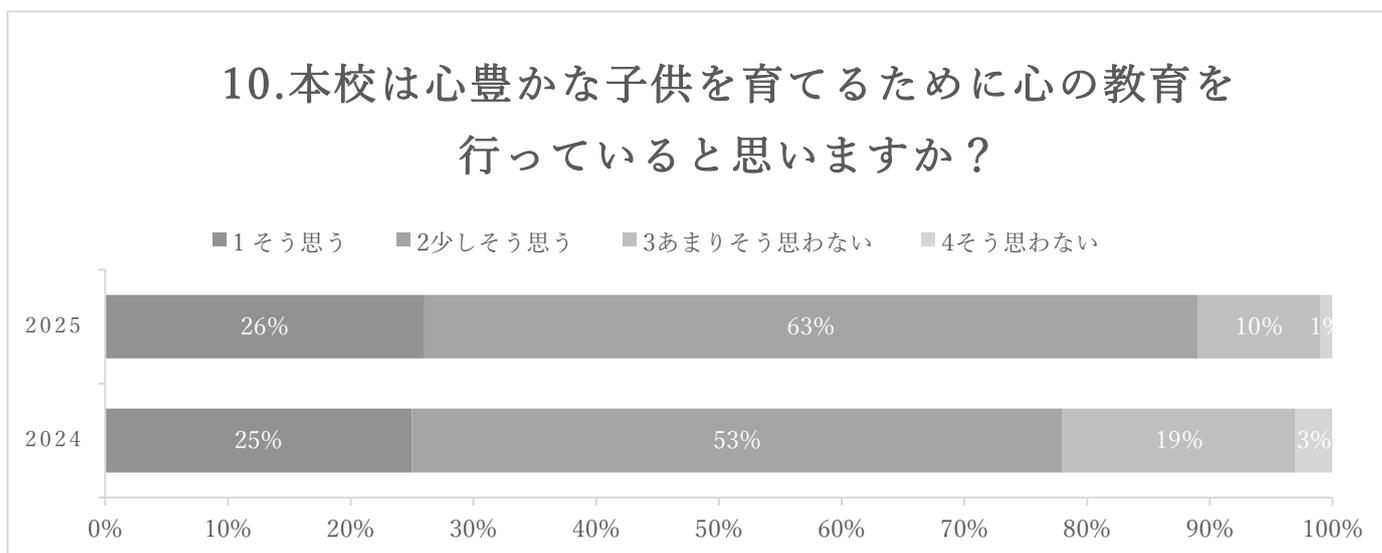
《保護者アンケートより》

◇学校経営方針に対する、保護者への周知と理解についての設問です。



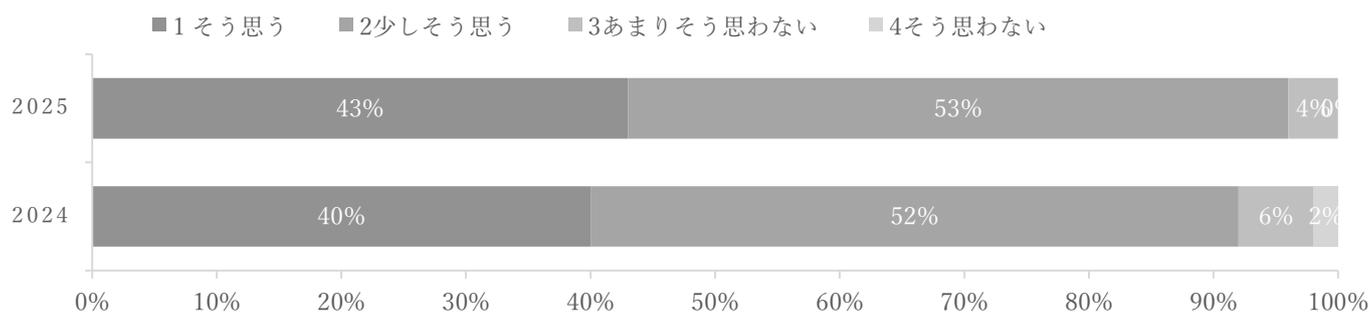
全体としては、肯定的回答率91%と高い評価を受けていますが、昨年度の84%より少し肯定的回答率が上回る結果となりました。今後も、学校ホームページや校長室だより、学校だより等を通してお伝えし、校内掲示や新1年生保護者説明会、保護者会等で丁寧な説明に努めていきます。

◇本校教育目標でもあり、座間市教育施策の大きな柱でもある「心豊かな子供の育成」についての設問です。



本校のめざす児童像の中に、「思いやりを持ち助け合える子」を位置付けています。この児童像を育成するために、道徳教育の充実に努め、児童会の「オアシス みんなが居心地の良い学校にしよう」プロジェクトの取組、交流フェスティバル、校内研を中心とした学年間交流活動等、温かな関わり合いを通して、思いやりと助け合いの心を育てる教育を大切にしています。今後も教育課程全般で実体験や交流活動を重視した創意を生かした取組や道徳教育のさらなる充実に努め、子供たちの豊かな心の育成を継続していきます。

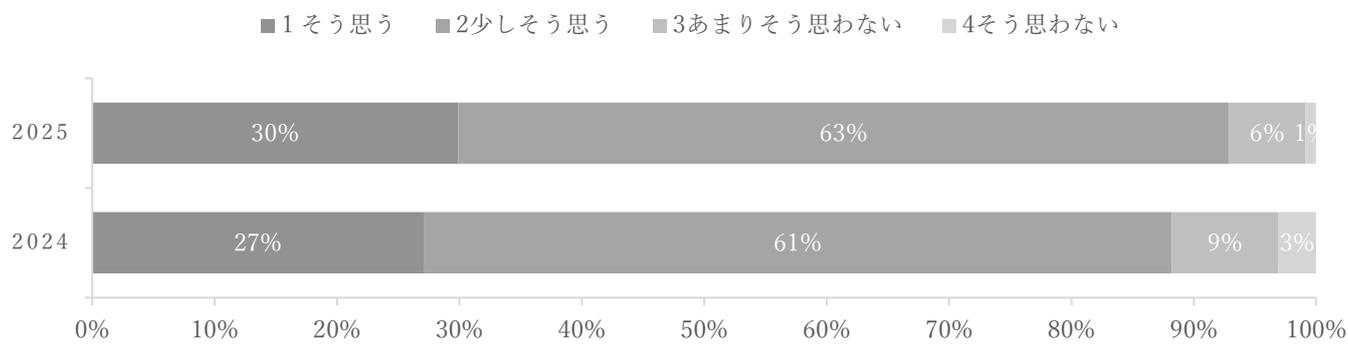
2. 本校は、学校行事などの教育活動を工夫していると思いますか？



今年度は運動会が学級閉鎖などの影響で2回に分けて行われましたが、5年キャンプ、6年修学旅行など泊を伴う行事やバス遠足等、児童が楽しみにしている行事は予定どおり実施することができました。低学年のみの運動会では他学年も参加し、低学年のために係活動、応援、さらに高学年は表現を披露するなど温かな交流を持つことができました。また、土曜参観やコミコミスクールなど学校の教育活動を保護者の皆さんに参観していただく機会も設けることができました。今後も保護者や地域・コミュニティ・スクールの皆様の声などを聞きながら、さらに児童が生き生きと学び成長できる学校を目指して、工夫改善に取り組んでいきます。

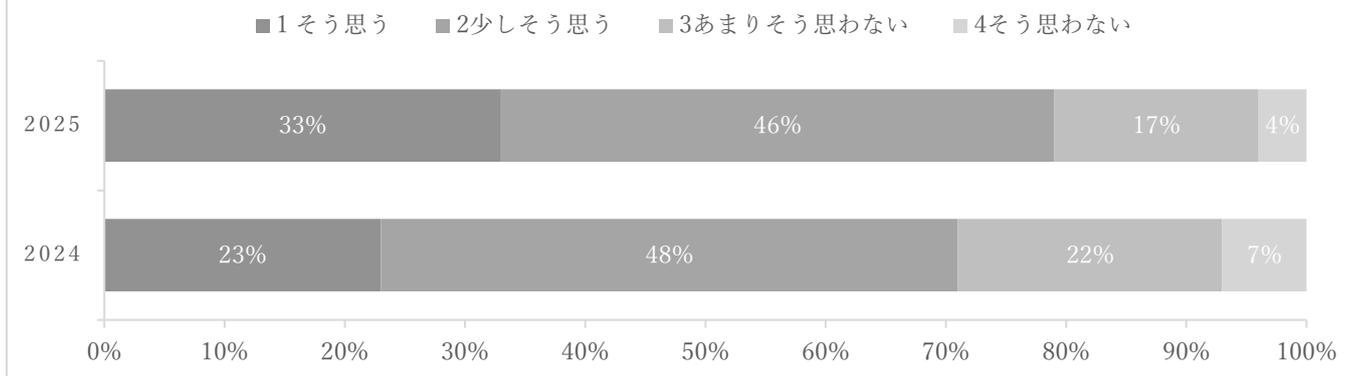
◇児童にとって効果的な授業ができているかを問う設問です。

15. 授業はわかりやすく充実していると思いますか？



わかりやすい授業については、肯定的回答率が93%という結果となりました。本校では「共に学び合い、みんなが高まる授業」を目指して全職員で校内研究を進めています。校内研究ではそれぞれの学びがみんなの学びになるよう、そしてみんなの学びがそれぞれの学びになるよう、温かな関わり合いを通して学び合い、児童全員にとって居心地の良い学級になることを目指した研究を進めています。今後も校内研究を中心に、学校全体で授業改善と充実に取り組んでいきます。

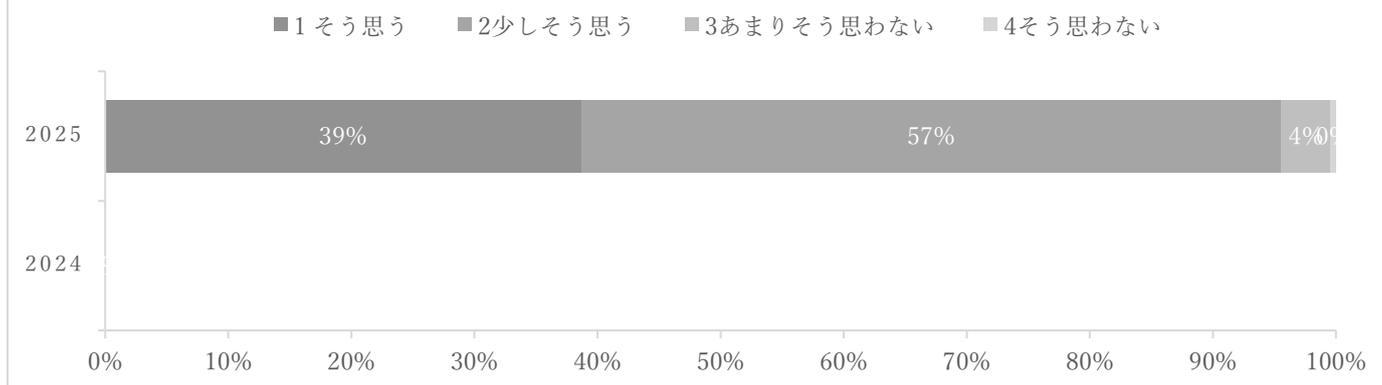
16.一人一台学習用端末やICT機器が整備され、教育活動に有効に利用されていると思いますか？



GIGA スクール構想により一人一台の学習用端末が貸与されてから、5年が過ぎようとしています。この間、授業や教育活動の中での学習用端末をはじめとした ICT 機器の活用は確実に進みました。授業内での活用は昨年よりもさらに進み、児童もさらにいろいろな場面で活用できるようになってきています。学年に応じて家庭へ持ち帰り家庭学習での活用にも力を入れてきましたが、今後さらに家庭での活用も視野に入れ、指導を進めていきたいと考えています。また並行して情報モラル教育にも力を入れながら、学びのコミュニケーションツールとしての ICT 機器の活用や、発達に課題がある児童への支援的ツールとしてのより良い活用を目指していきます。

◇教職員の、児童や保護者・地域に対する向き合い方や連携についての設問です。

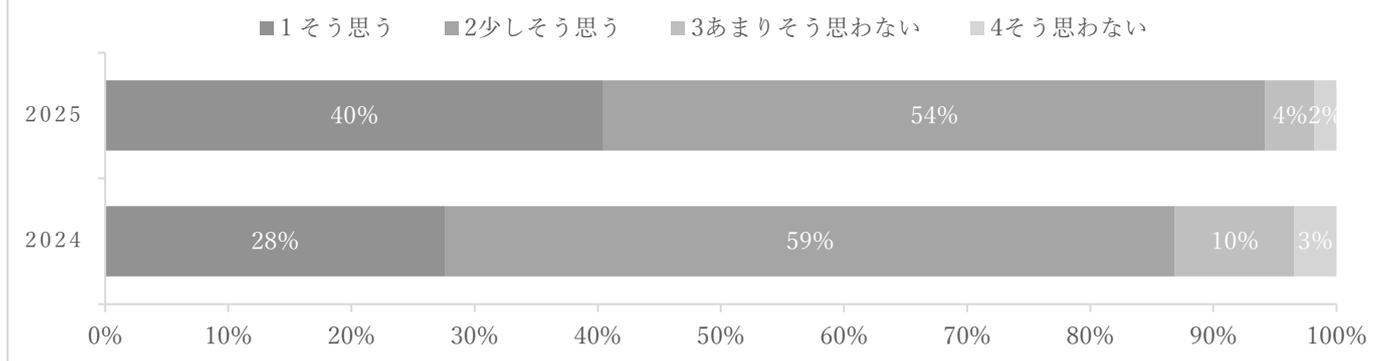
3.本校は、地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていますか？



本校では、コミュニティ・スクールが始まって4年目となりますが、5・6年家庭科学習のミシンボランティア、2年算数のかけ算九九聞き取りボランティア、相東ミュージックの演奏会など、様々な場面で地域の方々の協力をいただいています。

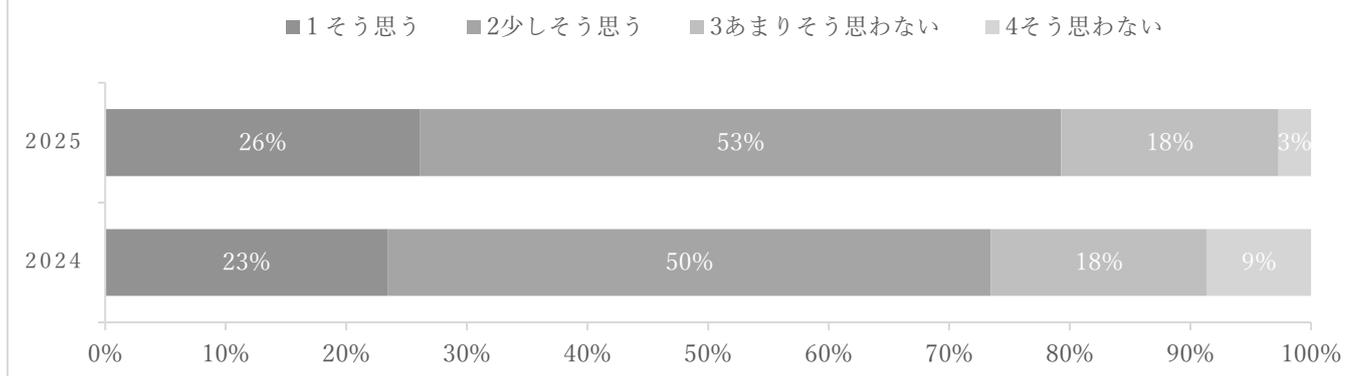
こうした取組が保護者や地域の方々に広く知っていただけるような情報発信の工夫をしていきたいと考えています。また、地域とのさらなる連携を目指して、今後も話し合いを重ねていきます。

8.教職員は児童一人一人を大切にしていますか？

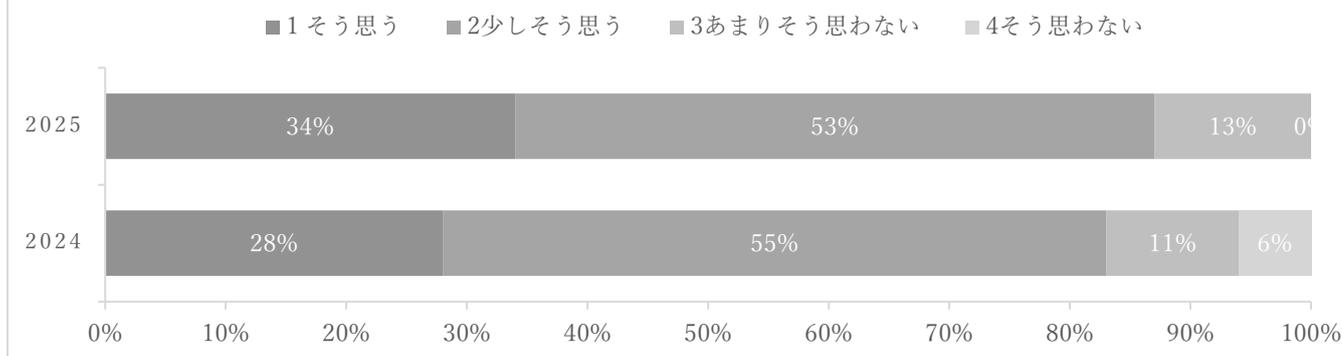


肯定的な回答率は94%で、昨年度よりも7%増えていました。座間市では毎朝「ココロチェック」を行い、児童の困り感や悩みにいち早く気付けるよう心掛けています。また本校では生活アンケートを行うことで、児童の悩みや相談したいことに対応できる体制を取っています。しかし『当てはまらない』と回答をいただいた保護者の方々がいることに対して、教職員一同が保護者の皆様の声に耳を傾け、児童一人一人に寄り添った指導や温かな支援に努めていきます。

4.学校に要望や意見を知らせやすいと思いますか？



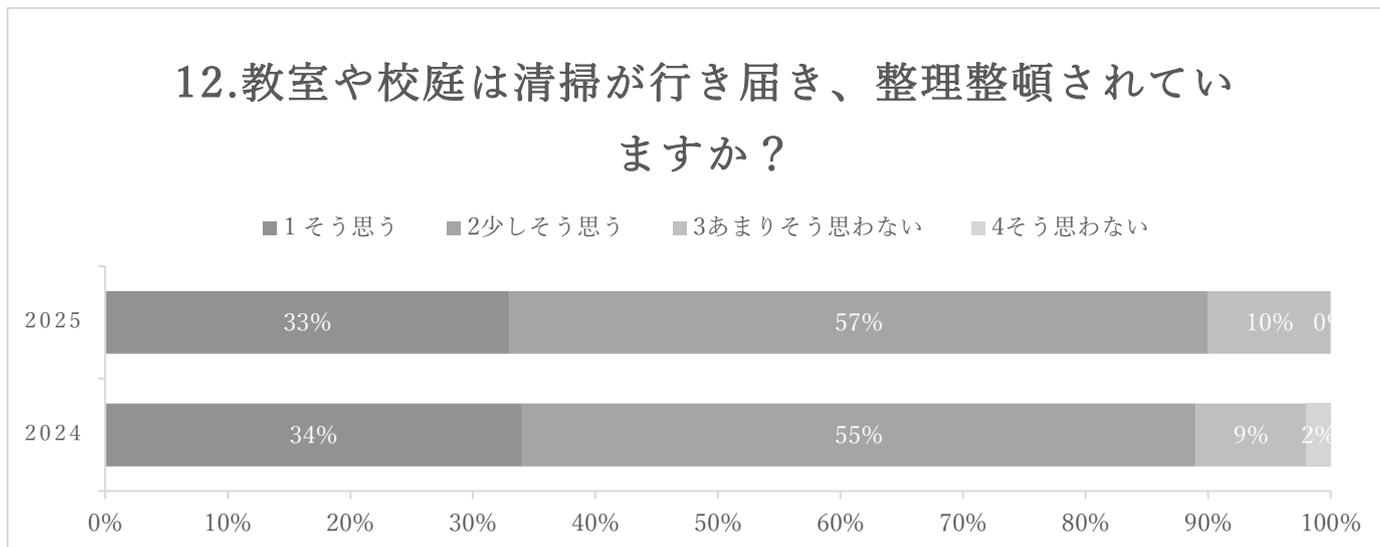
9.教職員は、何でも相談しやすい雰囲気がありますか？



年2回の個人面談を中心に、スクールカウンセラーへの相談や教育相談コーディネーターの活用といった取組を今年度も行ってきました。引き続き、教育相談体制の充実や個に応じた指導等に取り組み、きめ細やかに対応できるようにしていきます。

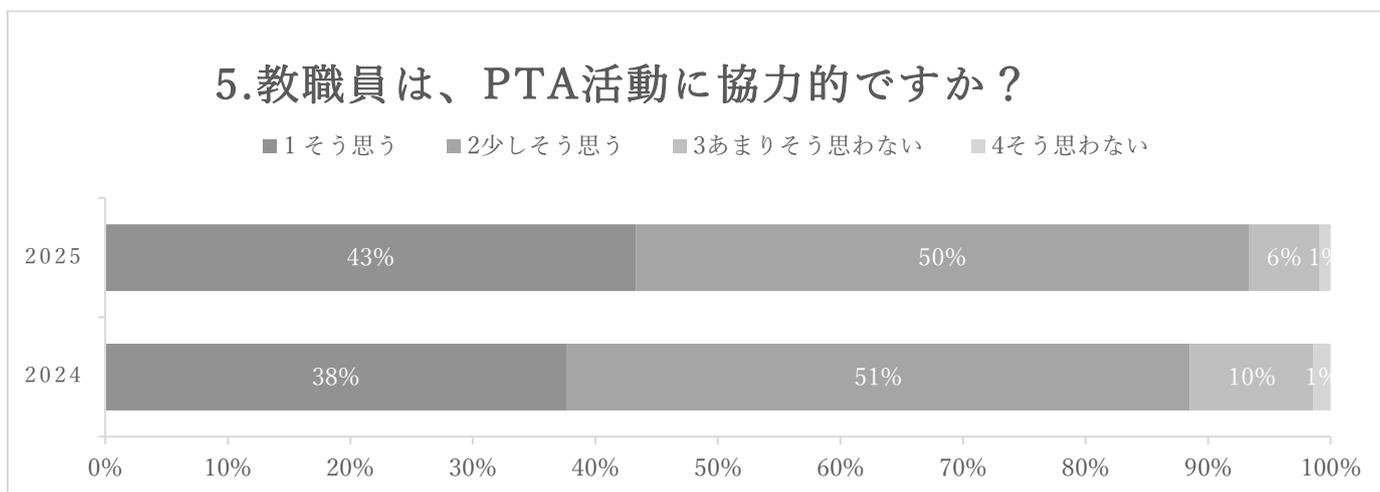
個人面談時以外でも、いつでもどの職員にでも、声をかけやすい場面で遠慮なくご相談ください。

◇環境整備状況についての設問です。



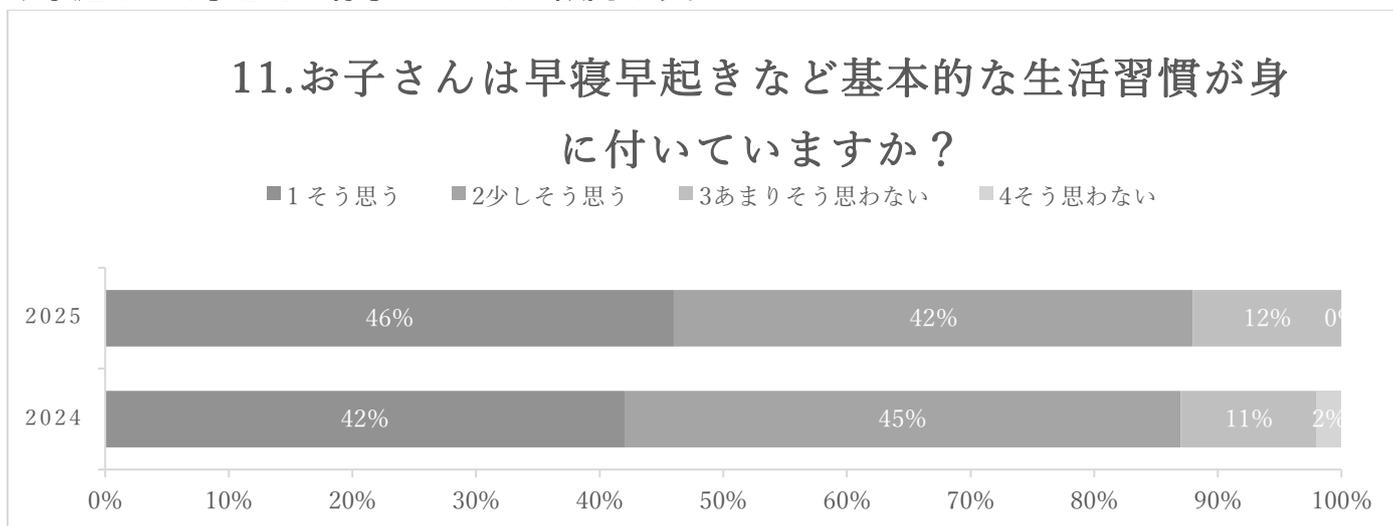
前年度とほぼ同じ結果となりました。業者による定期的なトイレ清掃、各教室や特別教室の床清掃とワックスがけ、除草作業や樹木伐採、さらに児童による清掃活動や美化委員会の常時活動である休み時間清掃の取り組みなどが、衛生的で整った教育環境の整備に繋がっていると考えます。引き続き校地内の環境整理を継続していきます。

◇教職員のPTA活動への参加姿勢についての設問です。

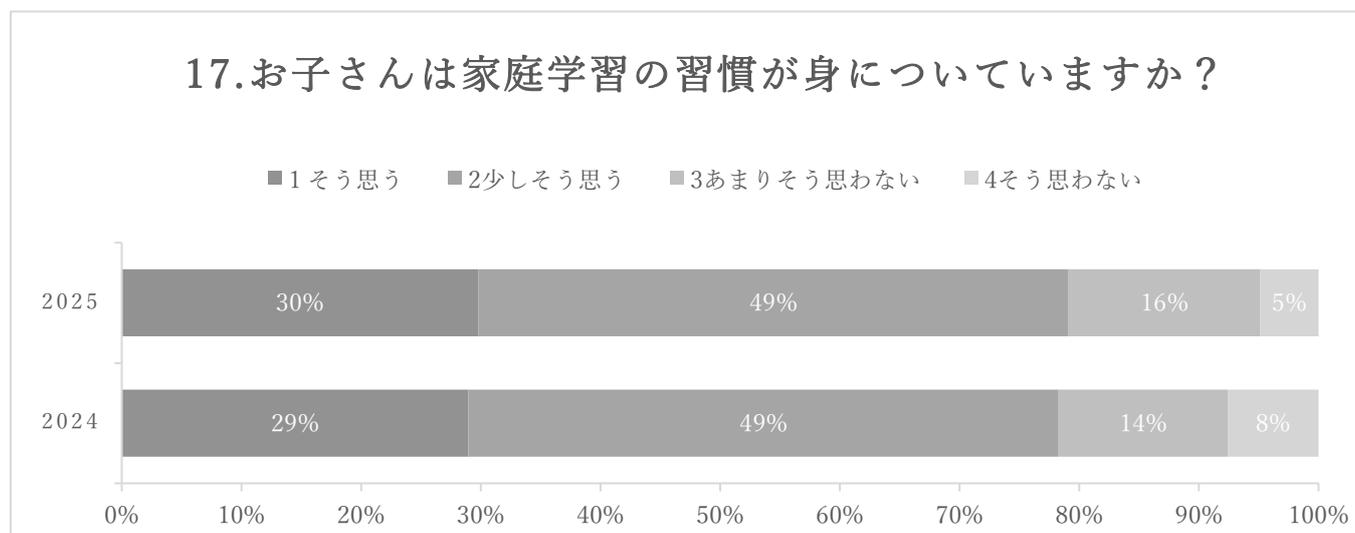


肯定的回答は、90%を超える高評価を得ています。「相東っ子まつり」の相東バンドや職員のパフォーマンス、スーパーボールすくいの出店、広報誌「ひがし」への写真提供等、教職員のPTA活動への参加協力を評価していただいた結果であると感じます。教職員の長時間労働や働き方が問題となる中で、勤務時間外のPTA活動に教職員がこういった形で協力できるかという難しい点もありますが、PTA活動自体の保護者負担も減らしながら、児童のより良い成長につながる活動の在り方を検討していきたいと考えています。

◇家庭でのお子さんの様子についての設問です。



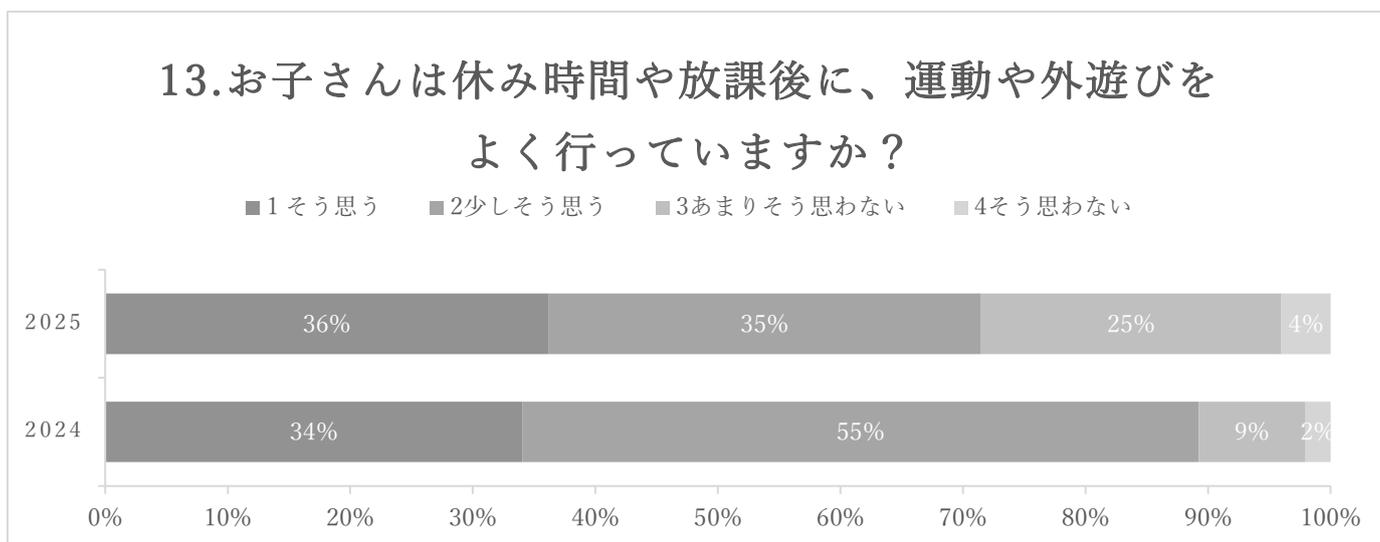
昨年と同様、肯定的回答が87%の高評価となっています。今年度の学校保健委員会では、「病気にならない身体作り」をテーマに、家庭で気を付けることとして、「睡眠、食事、体力を高める」ことの大切さについて、保健委員会、給食委員会、体育委員会からの発表がありました。ゴールデンタイムの睡眠を確保するために早寝早起きの大切さについて保健委員会の児童による発表がありました。また食育教育として本校では栄養士が全てのクラスで学年の発達段階に応じた食育教育の授業を行っています。家庭での生活習慣は、充実した学校生活を送る基盤となるものです。ご家庭での習慣づくりのおかげであることに感謝し、学校でも引き続き指導・支援を継続していきます。



昨年度と比べ、肯定的な回答はほぼ同じくらいです。

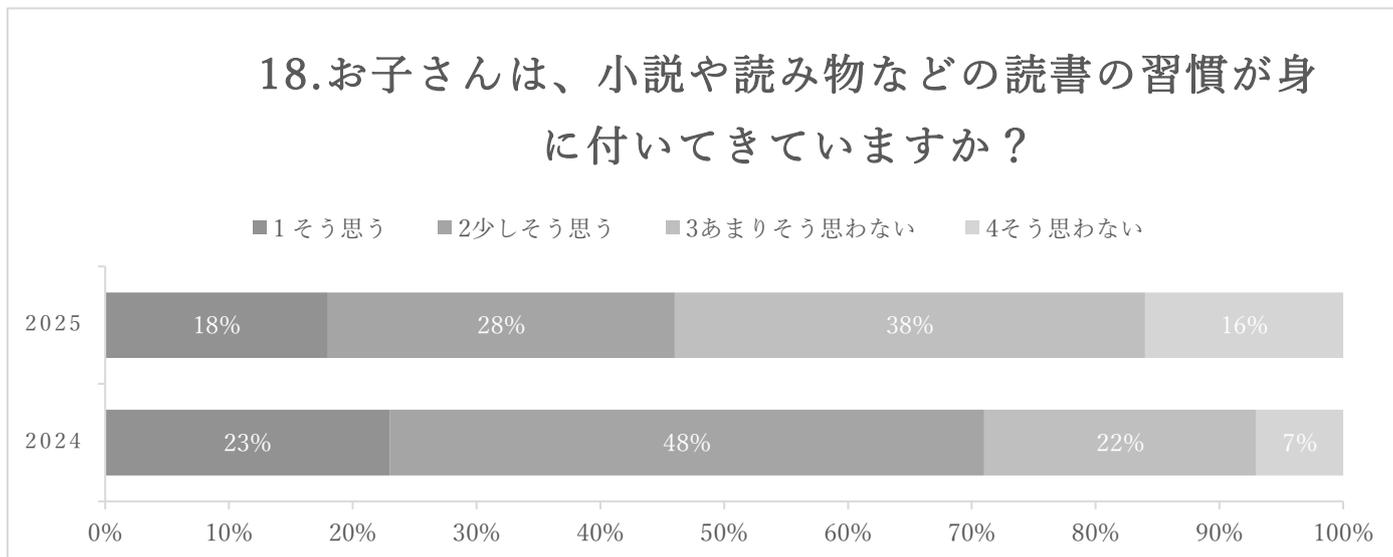
高学年では自主学習ノートの取り組みを行ったり、夏休み、冬休みなどの長期休業中に学習用端末での家庭学習も積極的に取り入れたりしましたが、今後は、各学年の発達段階に応じた家庭学習の内容や取り組み方の工夫、学習用端末のさらなる活用も視野に入れながら、児童が自主的に取り組める家庭学習の在り方について進めていきます。

◇お子さんの運動に対する取り組みについての設問です。



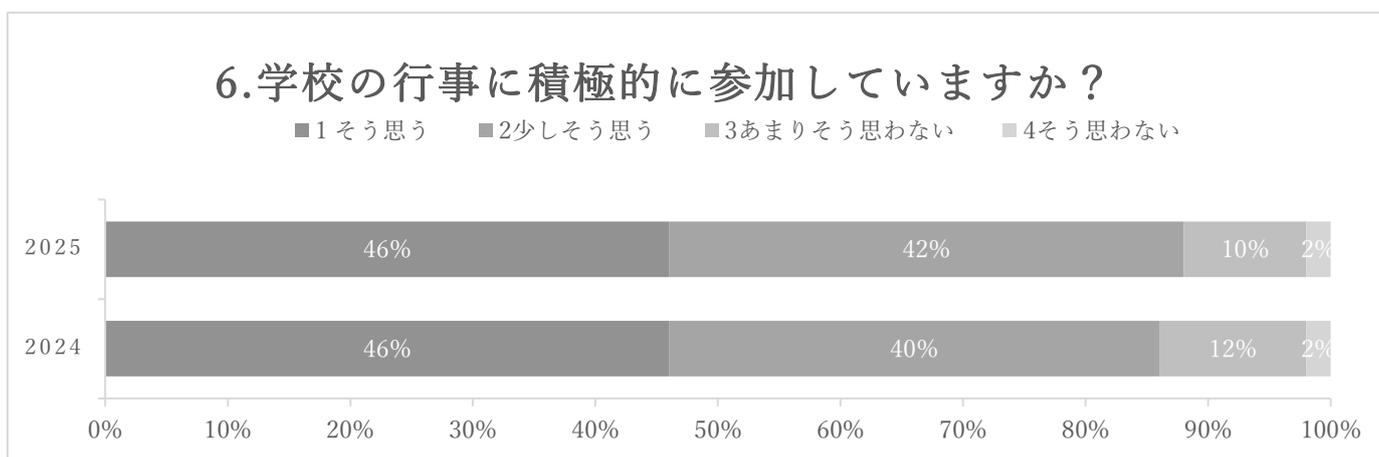
本校では児童の体力向上に向けて、日頃から様々な取り組みを行っています。体育の授業では体力向上を意識した動作を取り入れた準備体操を全ての学年に取り入れています。また各委員会によるドッジボール大会、なわとび月間、大縄大会など児童が楽しく運動に取り組めるような工夫も行われています。さらに学校保健委員会では体育委員会による今年度の体力テスト結果についての発表があり、相武台東小学校は反復横跳び、立ち幅跳びの結果が全国平均に届かなかったことから体育委員会によるなわとび週間の取り組みやなわとびの技紹介などが行われました。今後も児童が楽しく運動に取り組む、体力向上を目指すために学校でも引き続き指導・支援を継続していきます。

◇お子さんの読書に対する取り組みについての設問です。

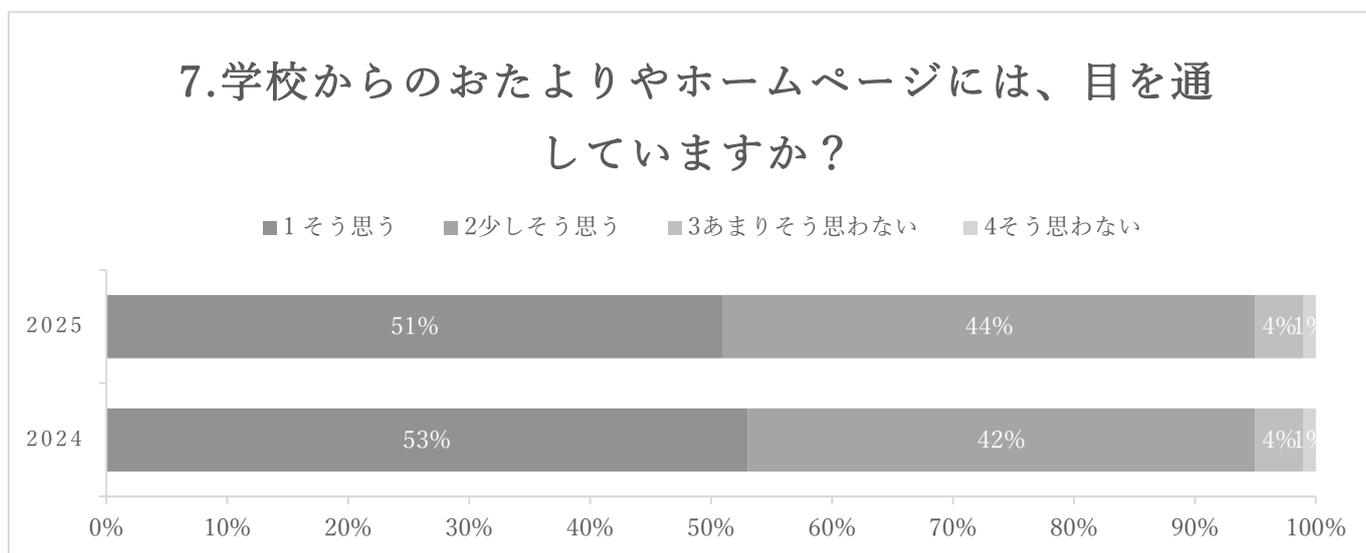


46%のお子さんに読書習慣が身に付いているという回答で、昨年より大幅に減ってしまったこととはとても残念です。児童に対しても同様の設問があり、72%のお子さんは読書習慣が身に付いているという回答でしたので、保護者の認識とは少しずつが見られる結果となりました。全校では月、火曜日に朝読書の時間、各クラスでも図書時間を設けるなどの取り組みを行っています。また図書委員会では読書週間にスタンプラリーなどを行うことで、図書室に足を運び本に触れあえるように工夫しています。図書館担当教諭と学校図書館司書が連携をし、休み時間忙しく図書室に来る機会が少なくなりがちな高学年を対象に、おためし読書などの活動も行われました。今後も子供たちに豊かな読書体験をしてもらえるよう、学校でも指導していきます。

◇保護者の学校教育への関心についての設問です。



学校行事への積極的な参加について、90%近くの保護者が『当てはまる』と回答していました。今年度、土曜参観や運動会、コミコミスクール、書き初め展などの学校行事にたくさんの保護者の方に来校いただきました。来年度も教育活動の工夫を行い、保護者の皆様と共に児童のより良い学校生活を支えていく方法を模索していきます。

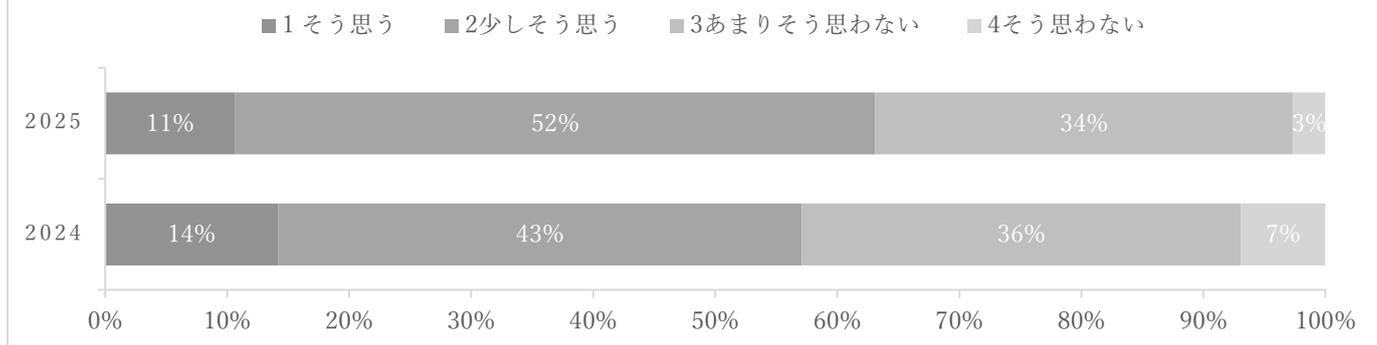


昨年度と同様、肯定的な回答が95%という結果となりました。

現在では、学校から発信する情報を保護者の皆様にタイムリーに届くよう「スマホで連絡とれ〜る」の機能を活用して各種のおたより（保健だより・給食だより・献立表）をデータ送信する取り組みを行っています。また、相東小だよりには、教育ボランティア（学校運営協議会の方々のご協力です）で募ったボランティア活動の紹介やPTA活動、おやじの会、お話し会、情報モラル実態調査報告などを掲載しています。さらに、ホームページには、学校生活の日常の様子や毎日の給食について、写真と共に掲載しています。「スマホで連絡とれ〜る」の機能を活用しつつ、ホームページの充実を図るとともに、紙面でのおたよりと併用しながら、学校の取り組みやお知らせをしていきます。

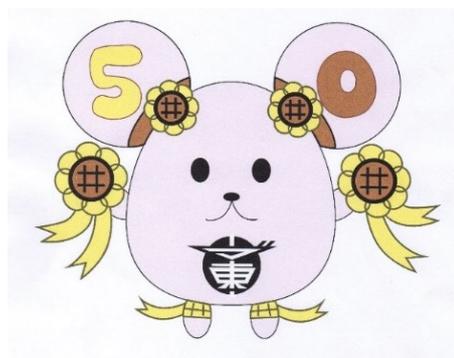
保護者の皆様や学校に関係する地域の皆様に、本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただけるよう、今後も情報発信に努めていきます。

14.保健・給食だより等を参考にし、お子さんの健康 衛生管理に役立っていますか？



学校から発信する情報を保護者の皆様にタイムリーに届くよう、現在、保健だよりや給食だより、食育だよりは「スマホで連絡とれ～る」で配信しています。保健だよりでは健康な生活を送るための基本的な情報から、感染症流行時には感染状況や感染予防対策などの情報をいち早く発信してまいりました。また、給食だより、食育だよりでは郷土料理の紹介や作り方などを掲載し、食の歴史や栄養について興味を持ってもらえるよう工夫を凝らしています。

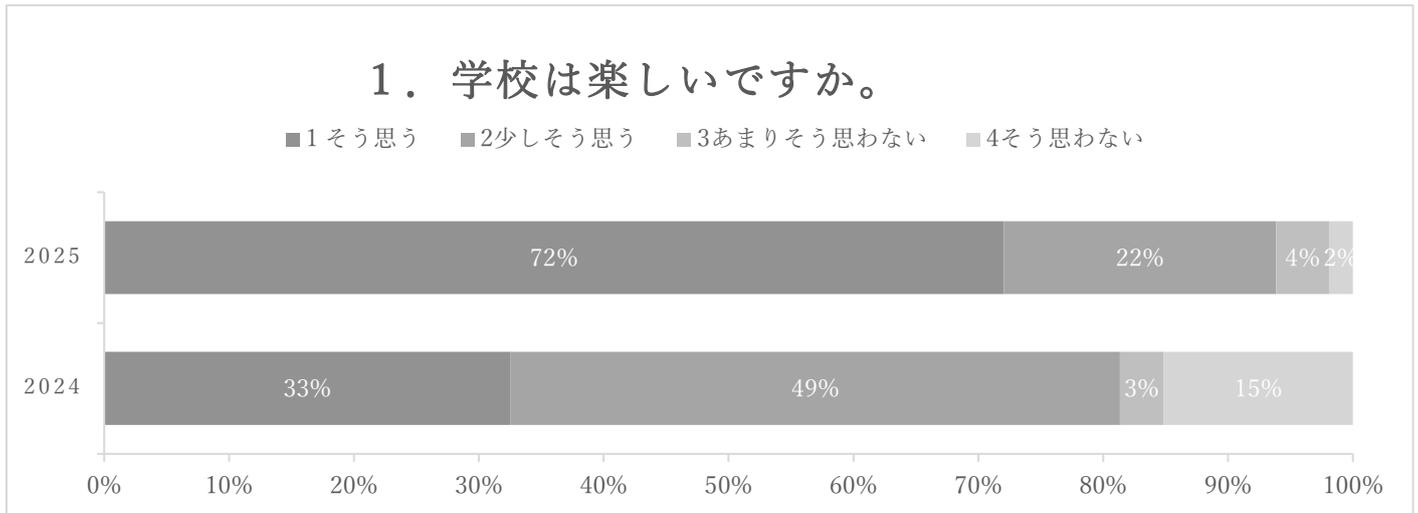
今後も保護者の皆さんのお役に立つ情報を発信できるよう努めてまいります。



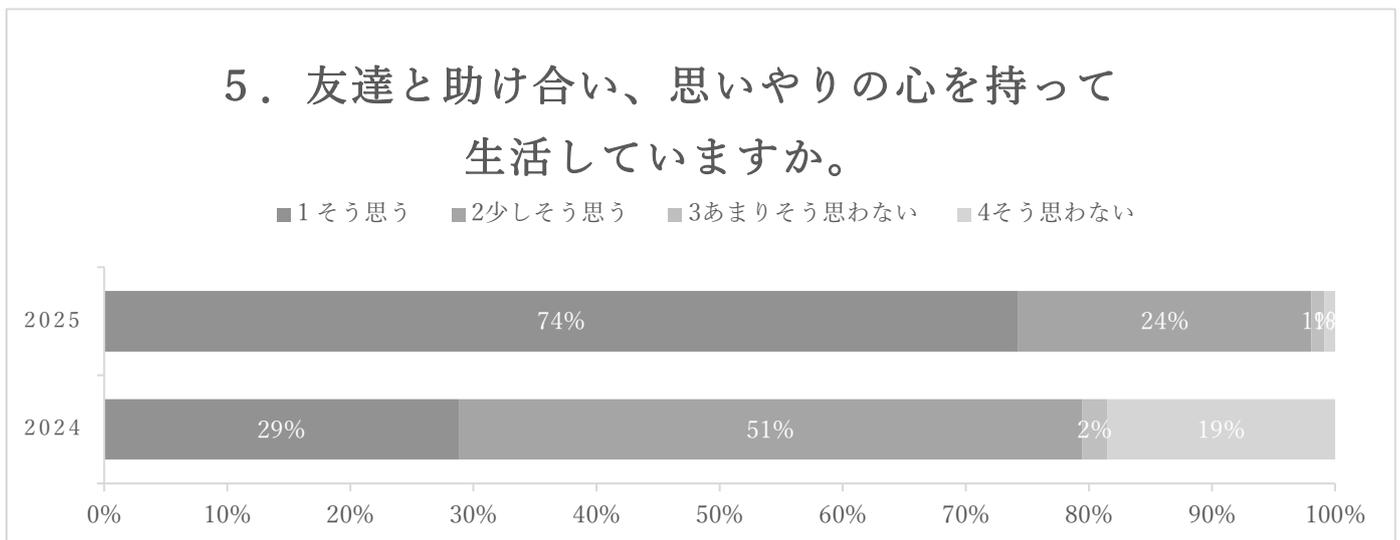
50thAnniversary キャラクター「ひまスター」

《児童アンケートより》

◇学校生活と友達関係についての設問です。

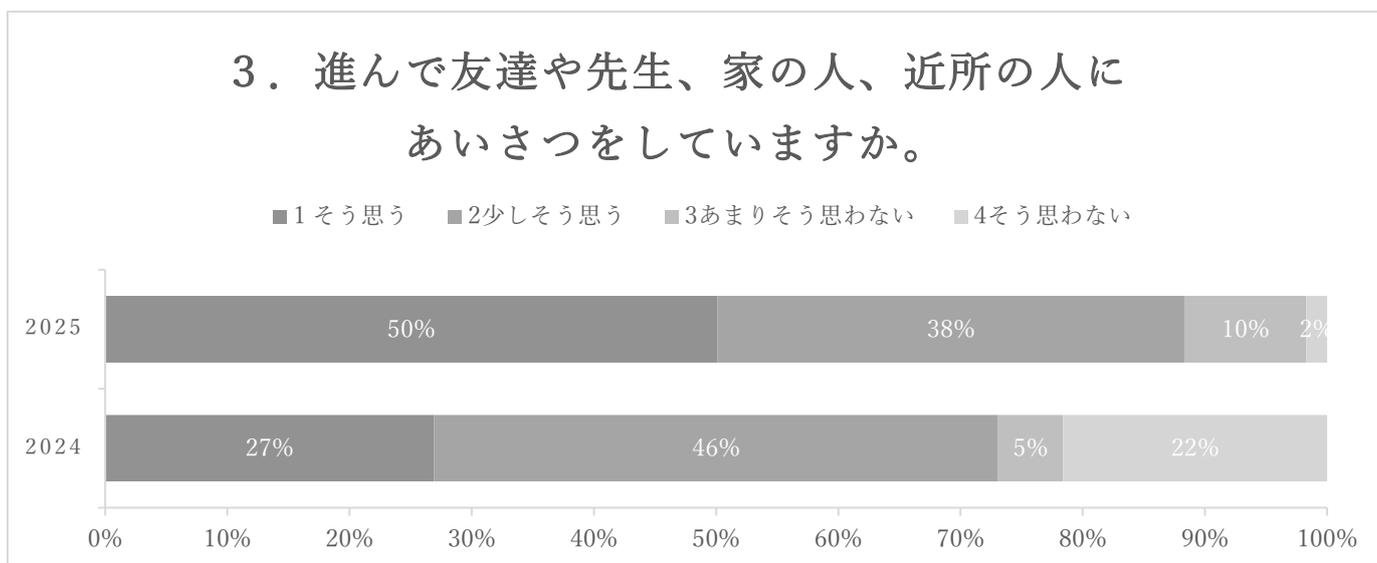


『と思う』の回答が昨年より大幅に増え、94%の児童から肯定的な回答があったことはとても嬉しいことです。また『そう思わない』と回答した児童が15%から2%に減ったこともとても嬉しいのですが、まだ2%の児童が『そう思わない』と回答していることを重く受け止め、居心地良く過ごせていない児童の気持ちに気付き、寄り添える姿勢を教師が持ち続けていきたいと思えます。今後は、児童同士が、学習や遊びを通してさらに深く交流し、お互いの思いや考えを伝え合うことの良さや楽しさが実感できるような学び合いの場を考え、学習活動はもちろんのこと、日々の生活や行事等、全ての教育活動の中で、児童一人一人が居心地よく過ごせる工夫を継続していきます。そして、楽しい学校生活を送るために、児童が主体的に行動できるよう、指導・支援をしていきます。



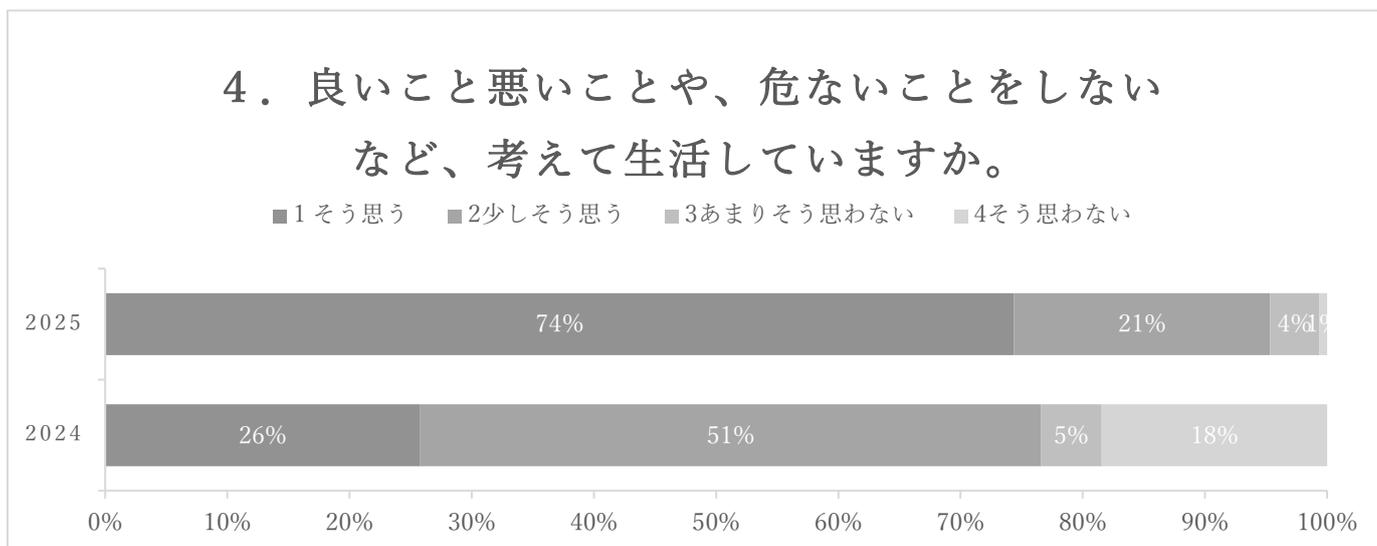
友達との助け合い、思いやりについては、肯定的回答率が98%となっています。本校では児童相互の「学び合い」を取り入れた授業づくりや、互いを認め合う学級づくり等を進めています。また本校では「温かな関わり合いを通してみんなで成長していける児童の育成」を目指した教育活動を日々行っています。「クラス全員にとって居心地の良い幸せな学級を目指すこと」を合い言葉に、引き続き児童同士が互いに安心できる人間関係が築けるよう指導・支援し、今後も安心して学校生活を過ごすことができるようにしていきます。

◇あいさつを積極的に行えているかについての設問です。



昨年度より児童会の取組として「あいさつ運動」を行い、あいさつの輪を全校に広げていくことができました。このような取り組みを通して「あいさつの輪」が広がり、相武台東小学校に来られたお客様や他校の先生方からも「相武台東小学校の子どもはあいさつがよくできますね。」とお褒めの言葉をいただいています。あいさつを通して得られる円滑なコミュニケーションを児童に実感させながら、あいさつが響きあう相武台東小学校にしていきたいと考えます。

◇規範意識についての設問です。

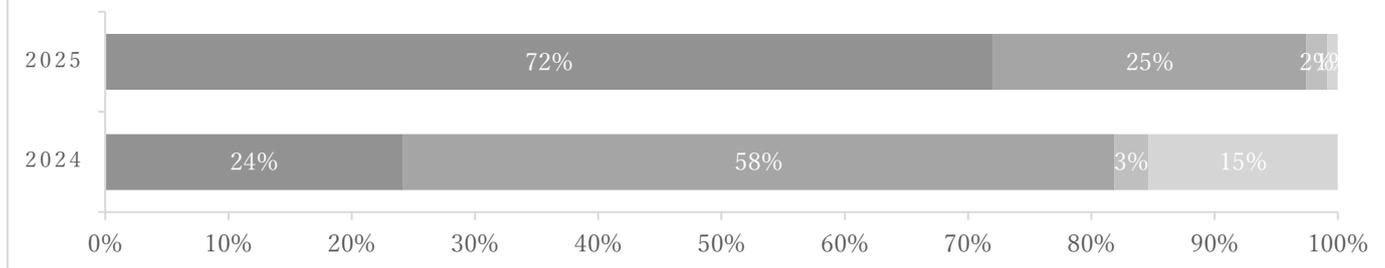


95%の児童が肯定的な回答をしており、今年度は大半の児童が良いことや悪いこと、危ないことに対して意識した行動を行うことができていました。今後も引き続き相武台東小学校の児童が安心して学校生活を送れるようにしていくためにも、児童一人一人がこの意識を高めて行動できるようにしていきます。また、校内だけでなく、家庭や地域での様々な場面の中で、具体的に考えて行動できるよう指導していきます。そのためにも、家庭や地域との連携を密にし、仲間と共により良い生活を自分たちでつくっていかうとする意識を育てていきたいと思ひます。

◇集団活動への主体的な参加についての設問です。

2. 友達と協力して、行事などをやりとげていますか。

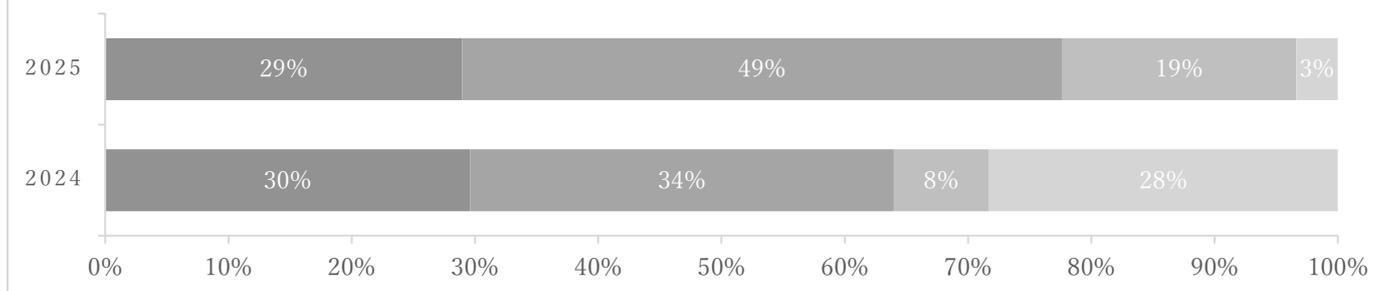
■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



本校には交流フェスティバルの児童会活動やドッジボール大会、大縄大会など各委員会が主体的に活動する場面がありますが、今後もこのような学校や学級の中で児童が主体的に活動する場面を考えていく必要があると感じています。具体的な活動についても、児童の側から意見や考えを募り、児童自ら学校や学級の活動の主体となって行動することの楽しさを実感させていきます。そのためには、児童会や委員会など児童が主役となる活動を考え、各学級へ波及する取り組みを意識して考えていく必要があると考えます。今後は児童が主体的に楽しみながら学校や学級の活動に取り組めるよう内容や方法を吟味し、指導・支援をしていきます。

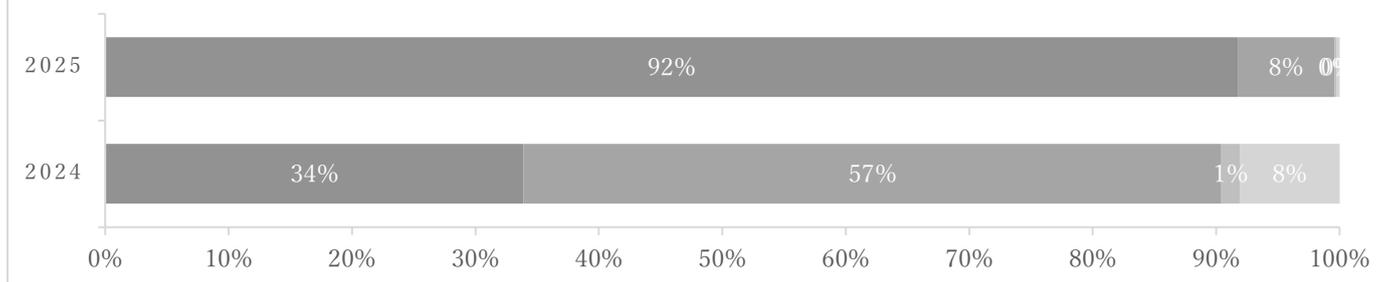
1 1. 日頃から汚れているところがあれば進んできれいにしていますか。

■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



9. 掃除当番や給食当番をきちんと 行っていますか。

■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない

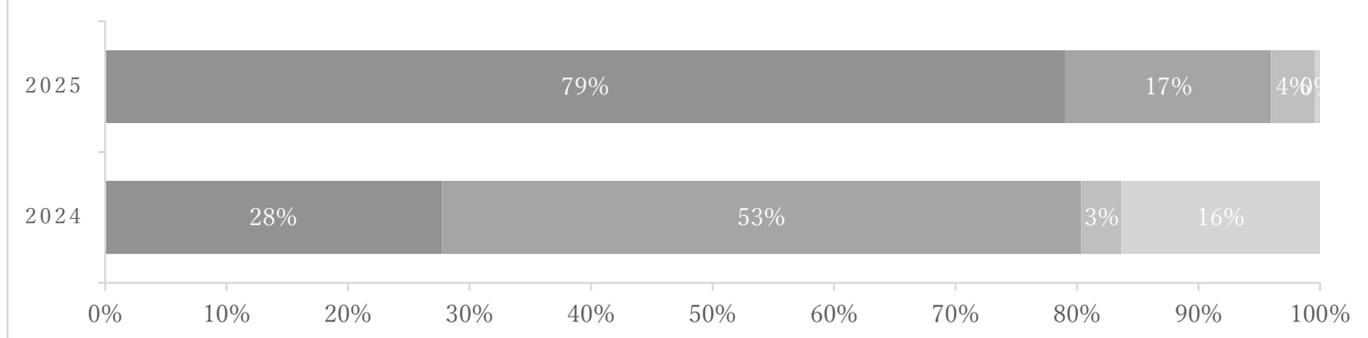


設問9. 11は所属集団での働きや貢献を問う設問です。自分の所属する集団が、生き生きと生活を営む上で、欠かせない意識や行動です。学校での当番活動などは「義務や責任を果たす」といったこと以上に「主体性を育てる」「誰かのために役に立っている」「自分は役に立っている」という自己有用感を育てるという点で大変大切であると考えます。設問9では児童の肯定的回答が100%となっており、今後も児童一人一人が自己有用感を感じながら生き生きと活動できるよう引き続き指導をしていきます。設問11については自主的に考えて行動できる子供に育つよう、今後も感謝や承認の言葉を児童に伝えながら、主体的に取り組めるよう進めていきたいと思いをします。

◇登下校の安全意識についての設問です。

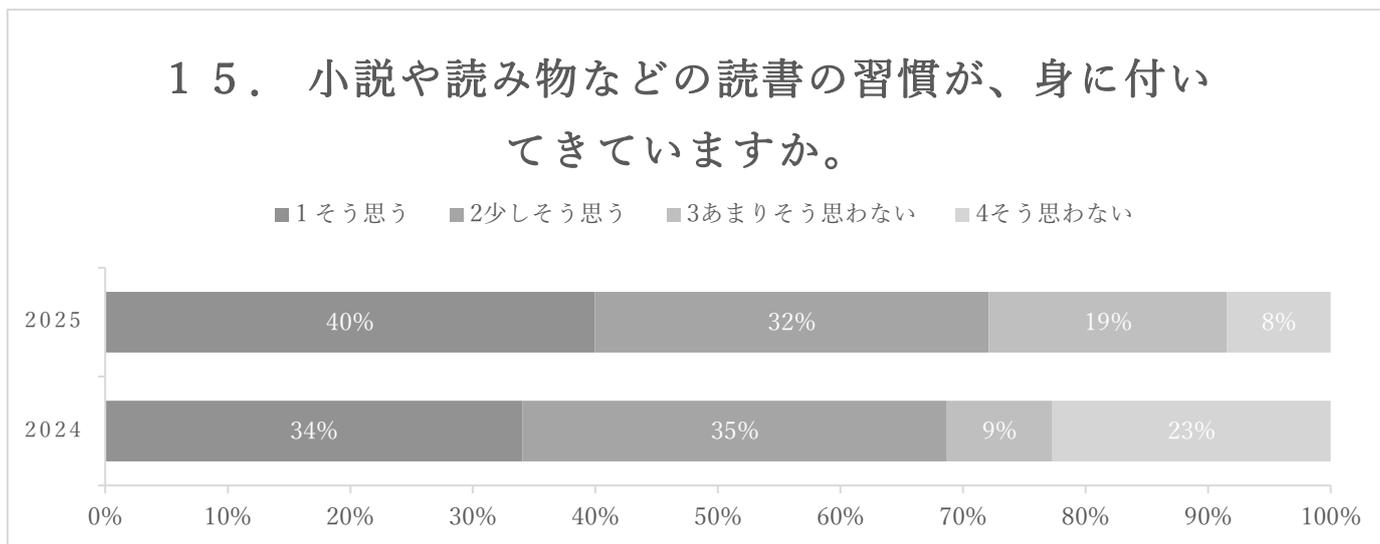
6. 安全に注意して、登下校を行っていますか。

■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



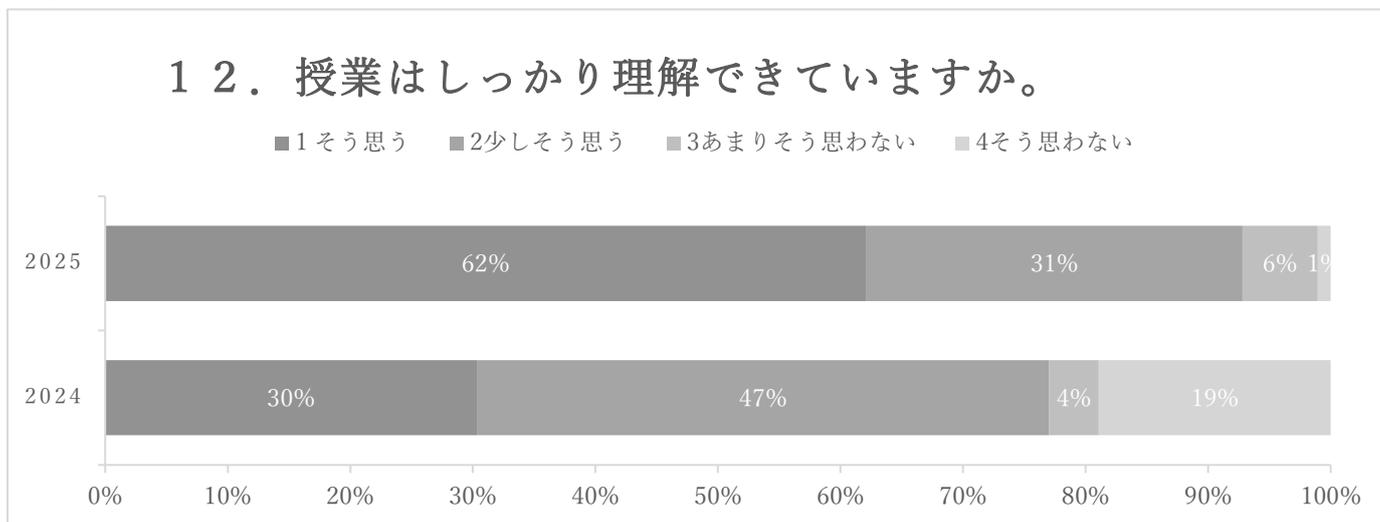
登校時は1列になり、登校班長を先頭にして安全に登校できていることは大変立派です。しかしながら、下校時や放課後・休日には、交通事故につながりかねない事案や、地域の方から交通マナーの悪さを指摘されることもあります。そういった状況の中で、地域の方々が児童の登下校を見守ってくださり、大変感謝しています。自他の命を守る行動がとれるよう、家庭や地域と連携した安全教育を今後も引き続き進めていきます。

◇読書への関心についての設問です。



本校では毎週月曜日と朝会のない火曜日の朝は朝読書の時間を設けています。また朝の「お話し会」、中休みの「トトロの森」において読み聞かせボランティアさんが長年にわたり活動を続け、児童へ本の世界の楽しさを伝えてくださっています。また、図書館担当教諭と学校図書館司書が連携をし、図書のホームページでおすすめの本を紹介し、季節や生活に合わせた本の紹介や読み聞かせ、読書週間の読書推進活動、学習における図書室活用も行っています。校長室前の廊下には、毎月本を紹介し、児童が手軽に本を手にとれるよう読書環境を整えるよう努めています。こうした取り組みを継続しながら、各学級の図書室利用を計画的に進め、児童が本に関心を持ち、理解を深めてく取り組みを工夫していきます。

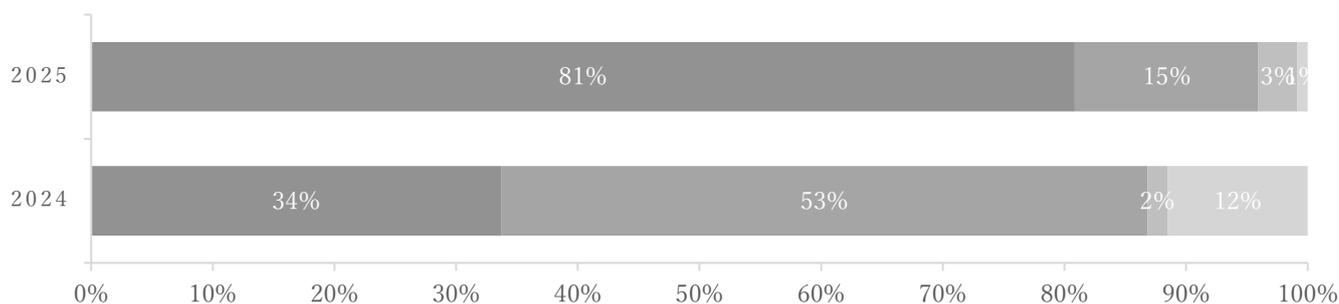
◇学習意欲についての設問です。



昨年度よりも肯定的な回答が16%増加し、93%となったことは、大変喜ばしいことです。今年度は誰一人取り残さない授業を心掛けていますが、それらの活動を通して今後の更なる授業研究や授業改善に取り組んでまいります。また、「そう思わない」と回答している児童が1%いることも真摯に受け止め、引き続き「みんなでわかる授業づくり」に取り組めます。授業がわかるから勉強が楽しい、進んで勉強したいという好循環が生まれるよう、よりよい授業づくりに向け、全教職員で研究を進めていきます。

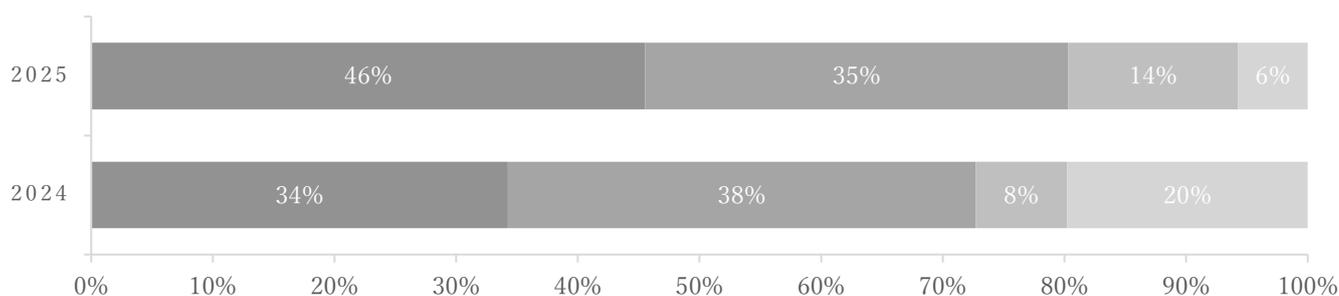
13. 宿題は最後まで取り組んでいますか。

■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



14. 宿題以外の学習も進んで取り組んでいますか。

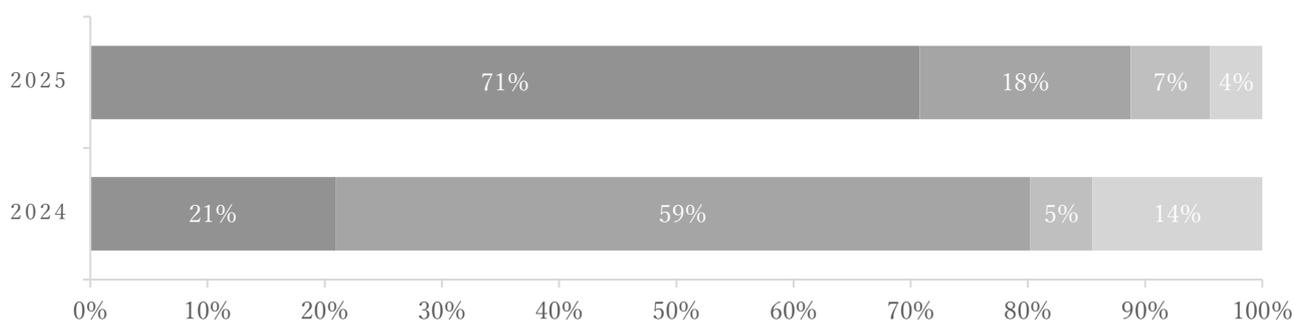
■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



設問13では宿題に対して肯定的な回答が96%でした。設問14で家庭学習に対しても81%が肯定的な回答をしており、家庭での学習習慣がついてきていることが感じられます。保護者の回答でも79%が家庭学習が身に付いていると回答していることから、今後も家庭における子ども達の自主的な学習に対する支援を継続していきます。

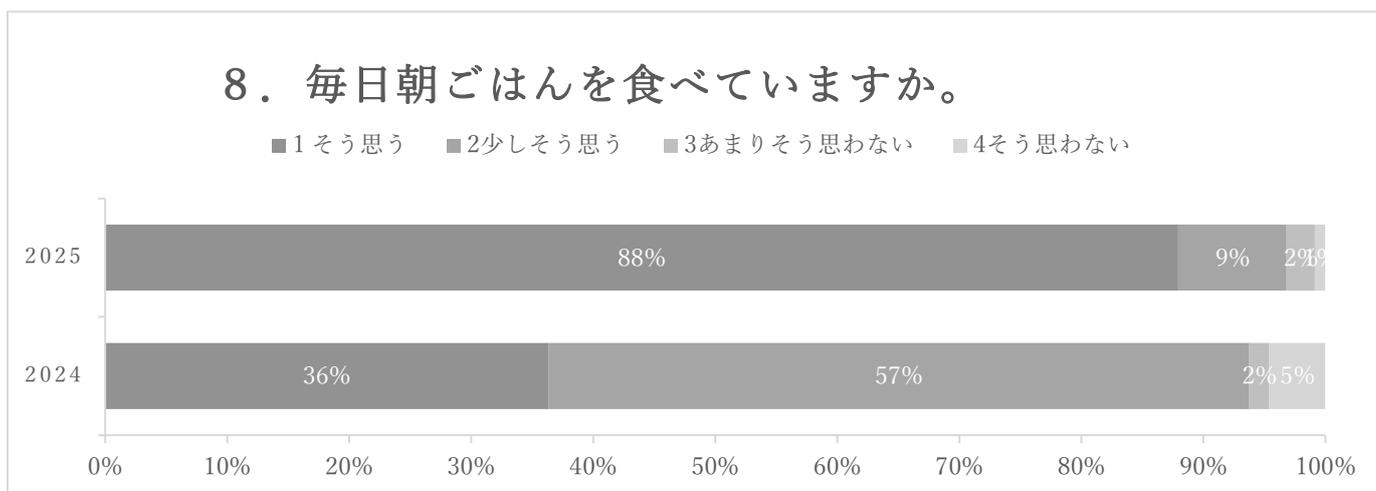
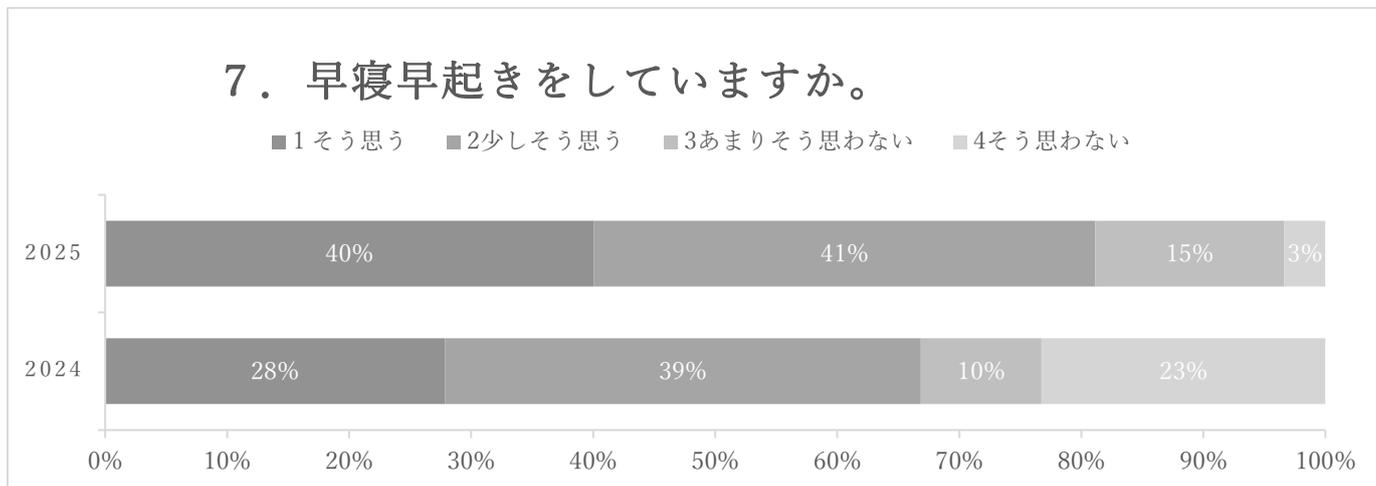
16. 調べ学習で、タブレットを使って調べることができますか。

■ 1 そう思う ■ 2 少しそう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない



今年度、授業内での活用は昨年よりもさらに進み、児童も昨年よりさらにいろいろな場面で活用することができるようになってきています。高学年は総合や社会、理科、図工など様々な教科や委員会、クラブ活動での活用が進み、低学年も少しずつタブレットの操作に慣れ、活用が進んでいます。また長期休業中には家庭にタブレットを持ち帰り、学習のツールとして活用することもできるようになってきています。今後も授業や家庭学習でタブレットを有効活用できるよう指導していきます。

◇家庭での生活習慣についての設問です。



設問8の朝食に関しては、昨年度に比べ『そう思う』が大幅に増えていることに安心しています。学校生活を元気にスタートさせる生活のために朝食はとても大切です。設問7の睡眠については年齢が上がるにつれて、乱れていく傾向にあります。要因としてはゲームやネット等に多くの時間を費やしてしまうことや、塾や習い事による就寝時刻の遅れなどが考えられます。小学校時代は心身の基礎をつくる大切な時期です。生涯にわたって自身の心身の健康を保てるよう、家庭と学校が連携し、生活習慣の確立に努めていくことが大切だと考えます。

